

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■ 設定のしかた

- ・凍結防止の前に
リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。

■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- ・約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



オート便器洗浄

自動で便器洗浄する/しない
オート便器洗浄

自動で便ふたを閉めたあと便器洗浄する/しない
便ふた閉止後洗浄モード

自動で便器洗浄するまでの時間を定める
水が流れるまでの時間 ※1・2

1. 設定 押す <操作画面 1 画面> 設定ボタン
2. 設定 押す <操作画面 2 画面> 次ページへボタン
3. オート 押す <操作画面 3 画面> オート機能ボタン
4. オート 押す <操作画面 3 画面> オート便器洗浄ボタン

オート設定ボタン 水が流れるまでボタン

5. オート 押す 押すたびに切り替わる
自動で便器洗浄
「する」とき [入] 「しない」とき [切]
5. 便ふた閉止後 押す 押すたびに切り替わる
自動で便ふたを閉めたあと便器洗浄
「する」とき [入] 「しない」とき [切]
5. 水が流れるまで 押す 押すたびに切り替わる
自動で洗浄するまでの時間を定める
「短い」約5秒後 「標準」約10秒後 「長い」約15秒後

●「便ふた閉止後洗浄モード」が「入」の場合は、上記で便ふたが閉まったあと、水が流れます。

※1 「オート便器洗浄」を「切」に設定しているときは、この操作はできません。

オートふた開閉

自動で便ふたを開閉する/しない
オートふた開閉

自動で閉まるまでの時間を定める
ふたが開まるまでの時間 ※1・2

1. 設定 押す <操作画面 1 画面> 設定ボタン
2. 設定 押す <操作画面 2 画面> 次ページへボタン
3. オート 押す <操作画面 3 画面> オート機能ボタン
4. オート 押す <操作画面 3 画面> オートふた開閉ボタン

オート設定ボタン ふたが開まるまでボタン

5. オート 押す 押すたびに切り替わる
自動で便ふたを開閉
「する」とき [入] 「しない」とき [切]
5. ふたが開まるまで 押す 押すたびに切り替わる
自動で閉まるまでの時間を定める
「短い」約25秒後 「標準」約30秒後

※1 「オートふた開閉」を「切」に設定しているときは、この操作はできません。

■ ご使用のタイプを選択してください



凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式



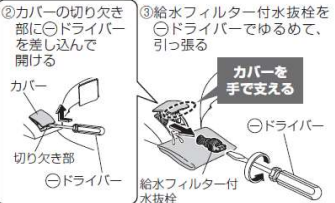
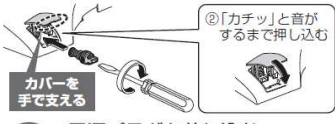

ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法で

便器の水たまり面を下げる (水の跳ね返り低減や 検便のときなど) 水面下げる	便器とウォシュレットの水を 一定の間隔で自動で流す 凍結防止	電子音を 鳴らす/鳴らさない 電子音
<p>1 設定 押す</p> <p>2 メニュー 押す</p> <p>3 その他 設定 押す</p> <p>4 水面下げる 押す 便器内の水が流れて 低い水位でたまる</p> <p><設定完了></p> <p>お知らせ ・便器洗浄すると、 通常の水面の高さ に戻ります。 水面を下げて使 いたい場合に、都度 設定してください。</p>	<p><操作面 1 画面目> 設定ボタン</p> <p><操作面 2 画面目> 次ページへボタン</p> <p><操作面 3 画面目> 水面下げるボタン 凍結防止ボタン 電子音ボタン</p> <p>4 凍結防止 押す</p> <p>5 はい 押す</p> <p><設定完了></p> <p><「入」に設定する場合> 設定すると約10分間隔で便器洗浄して 凍結を防止します。</p> <p>4 はい 押す</p> <p>5 はい 押す</p> <p><設定完了></p> <p><「切」に設定する場合> 凍結防止 を押して 「切」に設定してください。</p>	<p>4 電子音 押す 押すたびに切り替わる</p> <p>電子音を 「鳴らす」とき 「鳴らさない」とき 「入」 「切」</p> <p>電子音ボタン</p>

ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1** 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。
 (製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

 - 2** **押し**
 ・給水管の圧抜き

 - 3** 電源プラグを抜く
 - 4** 配管の水を抜く
 ①便座・便ふたを開ける

 - 5** 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める
 ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
 ②ドライバーで確実に締める

 - 6** 電源プラグを差し込む
 ・「運転」ランプが点灯する
 - 7** すっきりパネル(右)を取りはずす

 - 8** タンクの水を抜く
 ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
 - 9** 便座温度を「高」にする
 ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。
- お知らせ**
- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
 - ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
 (タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1** ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
 止水栓または元栓を閉める
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2** **押し**
 (給水管の圧抜き)
- 3** 電源プラグを抜く
- 4** 配管の水を抜く
 ■凍結のおそれがあるときは
 ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
 (不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください)
- 5** ■再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。

再通水のしかた

- 1** 止水栓または元栓を開ける
 または、水抜栓を操作して、給水する
 ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2** 電源プラグを抜いているときは
 電源プラグをコンセントに差し込む
 ・「運転」ランプが点灯する
- 3** ①ノズルから水を出す
 (1)手または腕で着座センサー部に触れたまま、
 (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
 ・水は紙コップなどで受けてください。
 (3)手または腕を着座センサー部からはずす
 ② **押し**
 ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。
 (タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます)
- 4** ■残水が凍結して水が出ないとき
 ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
 便器に水がたまってから、もう一度 **押し**

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。(RS1以外)